

JOY & JOY 喜びを喜びに

C S R R E P O R T 2 0 2 3
Action 

株式会社 森組 CSR統括部
〒541-0045 大阪市中央区道修町4-5-17
TEL:06-6222-5094 FAX:06-7732-4996
URL: <https://www.morigumi.co.jp>



CARBON EMISSION
0.451 ▶ **0.427** kg-CO₂/copy
この印刷物は、Scope1,2のCO₂排出量が実質ゼロで稼働するカーボンゼロプリント工場で印刷しています。



CONTENTS

- 03 トップメッセージ
- 05 健全な経営
経営理念/コーポレートスローガン/
経営方針/行動規範/
コーポレート・ガバナンス/コンプライアンス/
リスクマネジメント/
BCP(事業継続計画)の策定
- 11 多彩な事業
建築事業/土木事業/リニューア事業/
砕石事業/魅力あるまちづくり
- 15 高い品質
ISO 9001の取得/品質目標の取組状況/
優良工事表彰/新工法の紹介
- 17 確かな安全
安全衛生方針/
労働安全衛生マネジメントシステム(ISO45001)/
安全衛生活動の取り組み/
協力会社との連携(MOST会)/
経営層パトロール/けんせつ小町パトロール
- 21 守りたい環境
環境方針/ISO 14001の取得
- 23 望まれる社会貢献
災害復旧への貢献/
緊急資材の配備/
地域社会とのコミュニケーション
- 26 SDGsに対する取り組み
- 27 責任ある社員育成
人材育成/採用方針/
働きがいに関する取り組み
- 31 森組会社概要
会社概要/組織図/主要取引先/IR情報/
沿革/事業所一覧

CSR REPORT 2023

私たちの仕事はその思想もカタチも、次代へと繋がり残るものだから
企業はもちろん全社員が、常に大きな社会的責任を担っています。
創業以来124年、激動の時代を生き抜き
着実に成長を遂げてきた背景には
社会的責任とともに、全てのステークホルダーの皆さまに信頼され、
満足を感じ喜んでいただけることを
何よりの喜びと考える企業姿勢が存在しています。
森組は、社会や環境と共生しつつ、皆さまの喜びを喜べる企業として
堅実にかつ進取的に歩み続けます。



Action

[森組のアクション]



編集にあたって…

森組のCSRへの考え方や活動について、できる限り簡潔に表現し、わかりやすい誌面づくりに努めました。このレポートが、ステークホルダーの皆さまと森組とのコミュニケーションを図るツールとなれば幸いです。皆さまが「森組について知りたいこと」、森組が「皆さまへ伝えたいこと」を、このレポートにてお届けしたいと考えています。

対象期間

2022年4月1日～2023年3月31日
(一部対象期間以前、もしくは以後直近の活動内容も含まれています)

更新

2023年7月1日

株式会社 森組 CSR統括部
〒541-0045 大阪市中央区道修町4-5-17
TEL:06-6222-5094 FAX:06-7732-4996
URL: <https://www.morigumi.co.jp>

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

※SDGsとは
2015年に国連で採択された2030年までの人類と地球の繁栄のための行動計画で、17のゴールと169のターゲットから構成されています。本冊子では、当社の取組でSDGs達成に寄与している主なゴールをアクション毎に明示しています。

Top [トップメッセージ] Message



将来にわたって安定した 事業活動ができる企業体質を構築し、 森組の「特長(Strong Point)」を 顕在化させ、魅力ある企業へ。

CSRレポート2023の発刊にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。現在、新型コロナウイルスの各種対策が終了したことにより、経済活動も大きく浮揚し、この3年間の反動のような様相を呈しております。依然としてロシアのウクライナ侵攻が終結しないこの期間には、私も建設業における原材料、燃料価格の高騰はなかなか収まらず、総じて起きているインフレーションもその出口が見えずにいます。しかしながら、当社の生業である土木、建築事業の使命は、皆さまの暮らしを守る、そして社会資本の礎を築くことであります。当社の事業がステークホルダーの将来への設備投資であり、公共事業では長期にわたる社会基盤整備であることを誇りに思い、経営理念の下、コーポレート・スローガンを胸に刻み、揺るぎない気持ちで本業に邁進してまいります。

さて、私たち森組は1899年の創業以来、120有余年の長きにわたり、紆余曲折を繰り返しながらも営々と企業活動を続けてまいりました。厳しい事業環境に何度も直面しましたが、その度に数多くの方々の支えがあって現在に至っております。これからも、当社ならびに関係会社さまの役職員の健康と安全を図りながら、協力会社さまとの協働体制等の深化を糧に、建設業本来の“モノづくり”に拘り続け、お客さまをはじめとしたすべてのステークホルダーの皆さまの負託に応えてまいります。

今後とも、当社は持続的な成長と中長期的な企業価値向上のために経営の効率化を図り、公正性、透明性を確保して最適なコーポレート・ガバナンスの構築に務めてまいります。

皆さまの更なるご指導・ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



代表取締役社長 吉田 裕司

■ 当社を取り巻く事業環境

冒頭に申し上げましたように、景気の回復による民間需要の活性化は物価高を超えるものとなり、今後とも事業環境は旺盛になるものと思われまします。しかしながら、建設市場は受注競争が熾烈を極めていき、厳しい市場環境になることは今までと変わらず明白です。寡占状態がすでに垣間見えます。

当社において民間需要の中心となる建築工事では、継続顧客との信頼関係が醸成されてきておりますので、しっかりとこれらの絆を今まで以上に大切にまいります。

また、社会基盤・インフラ等の整備や老朽化対策は絶え間なく継続し、復旧・復興工事及び減災・防災を含めた国土強靭化施策は、当社の取り組むべき大命題だと認識しております。

一方、建設業界における技術者・労務者の慢性的な不足、建設市場の需要の質の変化、環境意識の高まりや持続可能な社会への転換(SDGs)、スマートシティやデジタル化社会の到来といったことで将来環境は著しく変わってきています。これらの変化への対応も求められており、大きく変容する事業環境を喫緊の課題として、必ず乗り越えてまいります。そして業務の効率化、省力化またアウトソーシングを一段と進めてまいります。

加えて、さらなる景気浮揚の観点からは関西地区では、2025年に大阪で万国博覧会が開催されることが決定された上に、今年4月には大阪IRも国に承認されました。2029年度開業に向けて、本格的に動き出すとのことです。また長期的には北陸新幹線の大阪までの延伸、リニア新幹線の名古屋～大阪間の着工なども計画されており、私たちは中長期的なインフラ整備と民間需要・設備投資等の大小の波をしっかり見極め、安定感のある、魅力的な企業へと伸長し、社会的責任を果たしてまいりたいと考えております。

■ 当社における経営方針

当社は、『最高の品質と最良のサービスで、お客さまの感動を』を経営理念としております。「将来を見据えた人材育成」、「安全・品質・コンプライアンス(法令、社会規範、倫理の遵守)」、「地球環境との共存共生」これらをすべての事業活動において、着実にまた確実に実行していくことで、お客さまとともに喜びを分かち合い、「喜びを喜びに JOY&JOY」のコーポレート・スローガンのもと、健全で質の高い経営を引き続き推進してまいります。

この経営理念においては、ESG経営という観念とも符合しており、向うべき方向は同じであるという認識を更に深めてまいります。

■ “モノづくり”とは安全にこだわること。 品質にこだわること。

建設業という“モノづくり”は、地域の環境・特性に配慮し、最低限の環境負荷で、構造物を造り上げていかなければなりません。災害・事故を撲滅し体系的に安全衛生活動を機能させることでお客さまの信頼を得る。それでこそ初めてモノづくりの会社と標榜できることを肝に銘じて、社会資本と暮らしを継続して支える事業活動を行ってまいります。

その成果として、与えられた条件の下で社員のノウハウの集大成として構築された、「高品質な建造物」をお客さまへ提供し、感動を得ることが社員の喜びと考える魅力ある企業であり続けます。

当社は非常にシンプルな事業構造に収斂しております。土木と建築の建設部門のみです。事業の種類を増やさず、多角化も追いかけていません。これからも「愚直にモノづくり」に拘るゼネコンであり続けます。

■ 「森組ブランド化計画」、 誰からも「選んでいただける」企業へ

定性的なキーワードである「森組ブランドの確立」については、引き続き継続してまいります。一昨年度に、前中期経営計画「Mori Gumi Branding Plan=MGBP'20」から新中期経営計画「MGBP-The Next」として、10年後の「あるべき姿」に向けて改めて策定いたしました。将来に向けて課題を整理し、しっかりと歩み続けてまいります。

この計画で、社会に貢献し、持続的発展が可能な企業であり続けるために、来る2030年度の「森組のあるべき姿」として、3つの企業ビジョンを示しました。

- 信頼できるパートナーと共に、豊かな社会を建設する
- 受け継がれてきた伝統と共に、新たな現場管理を実現する
- ステークホルダーと共に成長し、ステータス性あふれる企業になる

これらを高いレベルで実現し、魅力あふれる「森組」というブランドを確立させていきたいと考えております。不確実な将来においても「森組」が存続し続けるために、今、私たちが何をすべきか？拙速な答えを求めず、正確な判断を導きだしていかなければなりません。それが私たちの使命だと考えております。

これからも、お客さまをはじめとしたすべてのステークホルダーの皆さまに対して、地域社会の発展に貢献し続けるため、役職員一同、成長し続ける企業を目指してまいります。

■ 最後に

このCSRレポートは、2022年度(2022.04~2023.03)を中心とした当社の事業内容及び環境負荷低減活動や社会問題などに対する取り組み、活動をできるだけわかりやすくまとめたものであり、私たち森組をより身近に感じていただくためのものでもあります。ぜひご一読いただき、ご感想をお聞かせいただければ幸いです。

加えて将来にわたって社会的責任を果たすために、継続している現行事業を通じてSDGs(持続可能な開発目標)に取り組み、その活動意義を社内外へ発信してまいります。



JOY & JOY 信頼を喜びに

100年の後も、変わらないこと。 この100年、変えてきたこと。

信頼されることは、何よりの喜びです。

新しい時代に合わせて刷新してきた技術や理論、合理性の追求。

社会のニーズに応じて創造してきた居住空間や都市空間。

自由自在に変化を遂げたもろもろの一方で、草創期より変わることのない、堅実経営の理念があります。

誠実に、真摯に、着実に…ちょっと硬いこの姿勢こそが

森組が信頼され続ける由縁です。

R2横浜湘南道路栄IC・JCT下部工事(神奈川県)



経営理念

最高の品質と最良のサービスで、 お客様の感動を

私達は、持てる技術・業務に常に磨きをかけ、お客様の要望に的確にお応えするよう歩み続けます。そしてお客様が、私達の提供するモノ、サービスにこの上ない満足をお感じになり喜んで頂けることを、私達の最大の喜び・明日への糧とし、さらにこれらの行為を通じて社会に貢献する企業であることを目指します。

コーポレートスローガン



経営方針

1. 将来を見据えた人材育成
2. たゆまぬ努力による品質の保持・管理
3. 全社を挙げての事故・災害の撲滅
4. 適切なコスト、適正な価格の追求
5. 遵守事項の厳格運用
6. 地球環境との共存共生

行動規範

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. Change | 守旧を打破する変革邁進 |
| 2. Create | 智慧を絞った改善提案 |
| 3. Challenge | 視野を広げて積極挑戦 |
| 4. Communicate | 内外も縦横斜めも意志疎通 |
| 5. Speed | 待ったなしでの迅速行動 |

安全と信頼が何より優先される企業

具体的な取り組み



1. コーポレート・ガバナンス

当社は、企業の社会的責任を果たすとともに、持続的な成長と中長期的な企業価値向上のために、経営の効率性を高めながら公正性、透明性を確保してまいります。また、ステークホルダーとの適切な関係を保ちながら、最適なコーポレート・ガバナンスの構築に努めてまいります。



2. コーポレート・ガバナンス体制

取締役会は、9名の取締役（うち、社外取締役2名）で構成されており、毎月1回及び定時株主総会終了後直ちに開催することにしており、経営に関する重要な意思決定及び業務執行報告を行っています。

また、経営会議を毎月1回開催し、取締役会へ上程すべき事項ならびに社長決裁事項のうち事前に社長より諮問があった事項について審議しています。

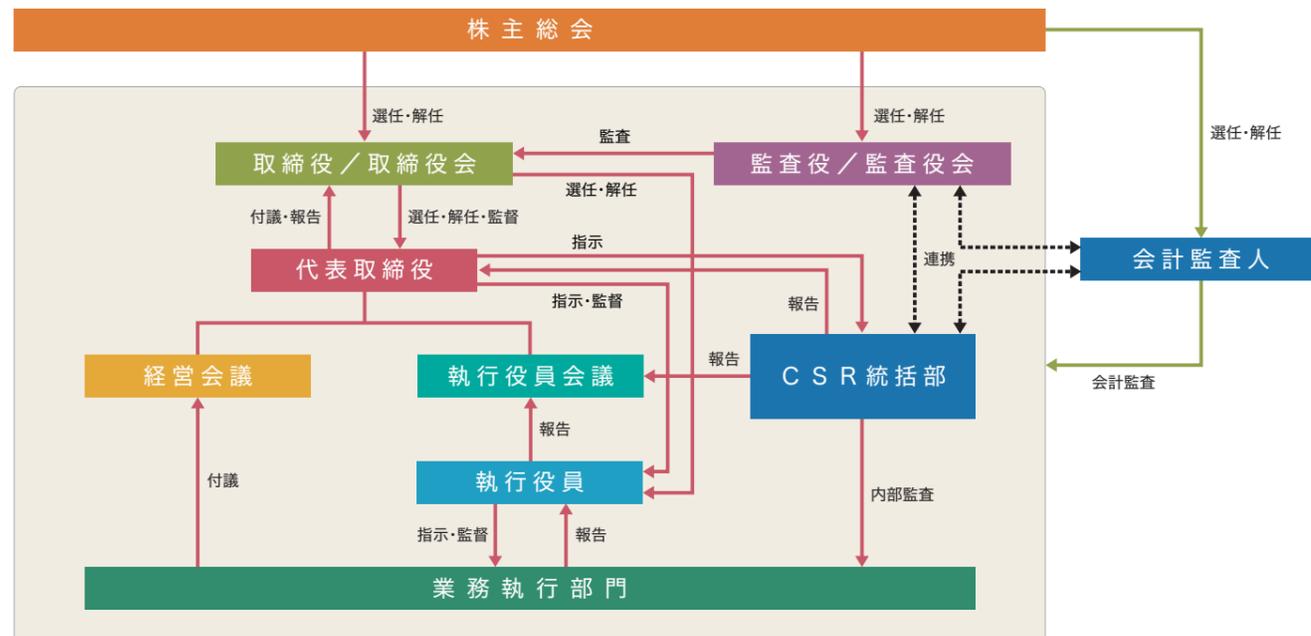
さらに、執行役員会議を毎月1回開催し、業務執行に関する報告及び協議を行っています。同会議では内部監査部門から内部監査報告が行われ、意見交換も行われています。



3. 内部統制システム

取締役の業務の執行が法令及び定款に適合すること、ならびに業務の効率性の確保及びリスクの管理に努め、財務報告の信頼性を確保するとともに、社会経済情勢その他環境の変化に対応するために内部統制システムを構築しています。

コーポレート・ガバナンス体系図



森組では、取締役会決議により「内部統制システム整備に関する基本方針」を定めており、この基本方針に基づく内部統制システムを継続的に改善し、実効性のある内部統制システムの整備・運用に努めています。

内部統制システム整備に関する基本方針

取締役の職務の執行が法令及び定款に適合すること、ならびに業務の効率性の確保及びリスクの管理に努め、社会経済情勢、その他環境の変化に対応するため、内部監査部門を設置し、内部監査を含め内部統制システムの検証と評価を行います。

具体的体制の整備

1. 内部統制システムに関する基本的な考え方及びその整備状況

- 1 取締役及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制**
 - コンプライアンス研修の実施
 - 内部通報制度の制定
 - コンプライアンス経営を脅かす重大事象発生時の検討委員会の設置
 - 社長直轄の内部監査部門(CSR統括部)の設置と内部監査の実施
- 2 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制**
 - 文書の保存・管理に関する規程に従う適切な保存と管理
- 3 損失の危険の管理に関する規程その他の体制**
 - リスクの想定・分析と不測の事態発生時の緊急連絡体制の整備
 - 重大リスク発生時に損害の最小化を図る「危機管理委員会」の設置
- 4 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制**
 - 執行役員制度を導入し、経営監督機能と業務執行機能との分離による経営体制を確立
 - 重要な業務執行は経営会議の審議を経て取締役会で決定
 - 権限と責任の所在と執行手続の詳細を定め、重要な業務執行は取締役会に報告
 - 業務のIT化を推進し、その進捗状況等の内部監査の実施
- 5 監査役を補助すべき使用人に関する事項及びその使用人の取締役からの独立性の確保に関する事項**
- 6 取締役及び使用人が監査役に報告をするための体制、その他監査役への報告に関する体制**
 - 監査役出席の取締役会において重要事項の報告を行い、取締役と監査役の意見交換会を別途開催
- 7 監査役を補助すべき使用人に関する事項及びその使用人の取締役からの独立性の確保に関する事項**
 - 監査役を補助すべき使用人に関する事項及びその使用人の取締役からの独立性の確保に関する事項
- 8 財務報告の信頼性を確保するための体制**
 - 取締役会は、財務報告とその内部統制に関し、代表取締役社長を適切に監督
 - 代表取締役社長は、本基本方針に基づき、財務報告とその内部統制の構築を行い、その整備・運用を評価

2. 反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方及びその整備状況

反社会的勢力への対応の徹底、かつコンプライアンスの遵守は、適正な事業活動を継続するうえにおいて不可欠であるとし、反社会的勢力への対応について倫理規則に定め、継続的なコンプライアンス教育を通して、全役員への徹底を図っています。

内部統制システム強化への取り組み

信頼される企業であるために、 まず私たちがやらなければならないこと

森組は誠実な心と思いやりの気持ちが信頼に繋がるのだと考えています。そのために私たちがやらなければならないことを従業員一人ひとりが考えて行動します。森組は社会の一員として、法令及び定款、規程、企業倫理等に背くことのないコンプライアンス経営を徹底して推し進めます。

具体的な取り組み

1 推進組織 ~CSR統括部~

森組は企業としての社会的責任を果たし、より豊かな社会を次世代の人々に継続して引き継ぐサステナビリティを目指すためにCSR統括部を設置しています。CSR統括部では文字通りの役割のほかに、コンプライアンスを推進し、従業員への意識づけはもちろんのこと、各部署の責任者や役員員に対しての指導や教育にも重要な役割を担います。

2 企業行動規範・行動指針

ステークホルダーの皆さまの信頼を得るために従業員全員が守っています。また、役職員を対象にしたコンプライアンス研修も実施し、行動規範・行動指針の実践を指導しています。

3 ホットライン ~相談窓口を設置~

内部通報(相談)窓口を設置し、従業員からの業務上の相談を受けつけて迅速に対応する体制を整えています。従業員の日常業務の中で組織的、または個人による法令等違反行為・反倫理行為(社内規程・ルールを含む)が行われた場合、またはその恐れがある場合に通常の業務ラインとは別に通報・相談することができる窓口です。窓口には社内通報・相談窓口と社外通報・相談窓口を設け、通報しやすい環境を充実させています。



情報管理への取り組み

情報管理への取り組み

- 個人情報取扱規程を制定
- 特定個人情報取扱規程を制定
- 電子情報セキュリティ啓蒙活動の実施
- 電子情報セキュリティ管理規程の制定と定期的な見直し

個人情報の保護

森組では個人情報保護方針(プライバシーポリシー)を定めウェブサイトに掲示し、個人情報の取得及び森組が有する情報の管理や取り扱いについて、管理規程を定めて個人情報の保護に取り組んでいます。

電子情報セキュリティ

インターネットや超小型記録媒体など、昨今の電子情報伝達ツールの普及に伴い、企業の管理する電子情報が漏洩・盗難されるという事件が多発しています。森組では、イントラネット等を利用して電子情報の取り扱いや漏洩・改ざん防止について定期的に啓蒙活動を行っています。また、定期的に「電子情報セキュリティ管理規程」を見直し、高いセキュリティレベルの維持に努めています。

緊急事態に対応する体制の構築が 森組が果たすべき社会的責任です。

森組の企業活動の中でお客さまに提供する「最高の品質と最良のサービス」をとりまく環境は、常にあらゆる緊急事態が発生するリスクをはらんでいます。ひとたび大きな緊急事態が発生すれば会社経営を圧迫し、存続の危機に陥るばかりではなく、社会に極めて重大な影響を及ぼす可能性があります。森組はこの緊急事態に対応する体制を整え、速やかに対処できる仕組み作りを進めています。また、大規模災害等発生時に備え、BCP「事業継続計画」を策定しています。

緊急事態に対する備え

1時間ルール

普段より緊急連絡体制を確立して事故や災害が発生した場合には、1時間以内に会社のトップまで報告することを義務付けた「1時間ルール」を実行しています。

緊急体制

事故(災害)の程度により、段階的に以下の本部を設置します。

1. 作業所対策本部
2. 緊急対策本部(責任者:事業本部長)
3. 危機管理委員会(責任者:社長)

緊急時に備えた訓練

日ごろより緊急時に備えた訓練を実施しています。

坑内からの避難訓練



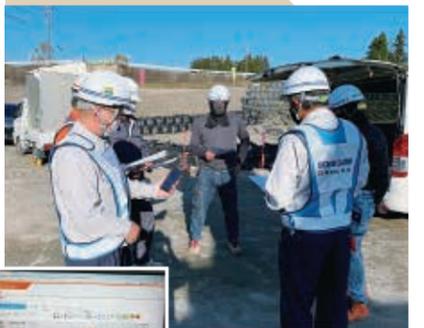
足立区千住緑町一丁目・千住橋戸町付近再構築工事(東京都)

熱中症対応訓練



(仮称)東成区神路4丁目集合住宅計画新築工事(大阪府)

河川水位上昇時の対応訓練



球磨村道沖鶴線災害復旧沖鶴橋下部工(P1)基礎工事(熊本県)

BCP「事業継続計画」の策定

- 生命の安全確保と安否確認
- 組織体制と指揮命令系統
- 重要拠点の確保
- 重要データのバックアップ
- 本店及び設備の災害被害軽減
- 財務手当
- 緊急資材等の備蓄



JOY & JOY 人々の笑顔を喜びに

何よりも上質を重んじる。 社会資本と暮らしを支える。

快適生活や交通・物流などに欠かせない都市インフラ整備。

豊かな都市生活や産業の発展・維持に貢献する建築物。

建築・土木・開発・管理など森組が手がける多彩な事業の基本にあるのは、

最高の品質と技術力を惜しみなく注ぐ姿勢。

安全と信頼が見える事業によって人々の笑顔は生まれます。

たくさんの笑顔に出会えることが、私たちの喜びです。

ヴェレーナグラン赤羽北ザ・マークス2(東京都)



建築事業

経営理念に掲げる
「最高の品質と最良のサービス」



アトラス西日暮里道灌山(東京都)

土木事業

経営理念に掲げる
「最高の品質と最良のサービス」



名神高速道路安八スマートインターチェンジ工事(岐阜県)

リニューアル事業

建物改修工事の分野でもゼネコンの
ノウハウと技術力で活躍しています。



着工前

銀座中学校屋上防水改修工事
(東京都)



竣工後

砕石事業

ゼネコンと砕石業界のネットワークを
構築し、資源の有効活用に努めています。



生瀬砕石所(兵庫県)

1
治水・利水



桜島～西島幹線下水函渠築造工事(大阪府)



三田西宮連絡管送水管
布設工事(道場工区)
(兵庫県)

3
道路工事



大阪湾岸道路西伸部
六甲アイランド第三高
架橋PE5他下部工事
(兵庫県)



大野油坂道路新子馬巢谷
橋下部他工事(福井県)

森組は生活・教育・文化・福祉・商業・スポーツ・
エネルギー関連など、さまざまなシーンで、
人々の暮らしを豊かにする事業を展開しています。

2
砕石販売



プラント



原石場

4
福祉施設



ウェルケアガーデン
深沢(東京都)



森組が活躍する
魅力あるまちづくり

5
リニューアル



さんきたアモーレ広場(兵庫県)



HF浅草橋レジデンス
外壁(全面)リニューアル
工事(東京都)

7
商業施設



つるやゴルフセンター箕面
(大阪府)



6
住宅施設



コンフォリア・リヴ 神戸元町Q
(兵庫県)



ヴィークスイート松戸(千葉県)

8
トンネル工事



小石原川ダム付替国道2
号トンネル工事(福岡県)



JOY & JOY 品質を喜びに

信頼に、最高の品質で応える。 それが、私たちの誇り。

日々進化してゆくテクノロジーに、
最高の品質と高度な技術に支えられた専門性で対応します。
道路、下水道、教育・福祉施設、商業施設、マンションなど
私たちが手がけるのは、何よりも安全性が問われる建造物。
誠実・堅実・真面目をモットーに、
安心の社会と暮らしをお届けできるのは、大きな喜びです。

羽曳野市宮向野東住宅(大阪府)



確かな技術と品質

森組が目指すのは最高の品質と最良のサービス!

森組の品質方針は経営理念そのものです。私たちは経営理念を具現化するため、お客さまのご要望にお応えできる品質マネジメントシステムの確実な実践とその継続的改善に努めています。創業以来124年にわたる技術の蓄積と経験に裏付けされた豊かな提案力と確かな施工力を結集してお客さまのご満足を実現します。

経営理念	品質方針
<p>「最高の品質と最良のサービスで、お客様の感動を」</p> <p>私達は、持てる技術・業務に常に磨きをかけ、お客様の要望に的確にお応えするよう歩み続けます。</p> <p>そしてお客様が、私達の提供するモノ、サービスにこの上ない満足をお感じになり喜んで頂けることを、私達の最大の喜び・明日への糧とし、さらにこれらの行為を通じて社会に貢献する企業であることを目指します。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 持続的発展のツールとして品質マネジメントシステムを運用します。 2. 品質不具合を予防し、品質事故の撲滅を図ります。 3. 是正することに躊躇せず、常に改善を図ります。 4. 総合力を向上させるため、当社全役職員を教育し、スキルアップを図ります。

ISO 9001 の取得

品質マネジメントシステムの国際規格であるISO9001:2015を認証取得し、土木構造物及び建築物の設計、施工及び点検サービスなど全社で積極的な改善活動に取り組んでいます。



▲登録証

2022年度 品質目標の取組状況

品質目標の取組状況

森組では土木事業本部・建築事業本部それぞれが、工事の優れた完成度や顧客満足度についての目標値を定めて品質向上に努めています。

具体的な品質目標

- 品質事故の撲滅
- 情報端末の有効活用
- 技術提案の実施
- 顧客満足度の高評価
- 技術社員の育成
- 業務マニュアル・手順書作成

優良工事の表彰

建築・土木工事において完成度の高さを評価され、表彰状を頂きました。



(仮称)茨木市中穂積一丁目計画新築工事



乙石川上流砂防堰堤工事



(仮称)天王寺区・勝山4丁目新築工事

※この他にも数多くの表彰状や感謝状を頂いています。

新工法の紹介 高トルク回転圧入鋼管杭打機「スーパードライバー工法」

2022年10月14日をもって、国土交通省の新技術情報提供システム「NETIS」の登録は終了しています。

スーパードライバー工法の特徴

スーパードライバー工法は、従来技術に比べ機械・設備がコンパクトとなるため、狭隘な施工ヤードでの施工が可能となります。

スーパードライバー工法で施工の様子





JOY & JOY 安心を喜びに

高い安全意識で守られた環境。 それを、ごく当たり前として。

私たちのすべての現場で、安全衛生目標が厳守されています。
森組が取り組む労働安全衛生マネジメントシステムは、
働く立場の人間はもちろん、周辺住民の皆さまや
たくさんのステークホルダーの皆さまに
安心と感動、喜びを実感していただく必要不可欠の要素。
安全対策の確立と実施は、大きな信頼と理解に繋がります。

天籟寺初音幹線管渠築造工事(福岡県)



喜びと信頼を生む安全

2023年度 安全衛生方針

私たち森組は、体系的・組織的に実施する労働安全衛生マネジメントシステムを安全衛生管理の基本とし、『前提安全』を企業風土として定着させるとともに、働く人々が安心できる安全衛生環境の向上と整備に努め、社会から信頼と共感をもって受け入れられる企業を目指します。

スローガン

- ① 『安全』はすべての作業の前提
- ② 現場特性に応じた作業手順の立案と確実な実行
- ③ 「墜落・転落災害」、「飛来・落下災害」、「崩壊・倒壊災害」のリスクを排除・低減
- ④ 「ヒューマンエラー」の防止・低減
- ⑤ リスクの先取りと予防措置の徹底

労働安全衛生マネジメントシステムへの取り組み(ISO45001:2018)

- 1 労働安全衛生マネジメントシステムを構築し、システムが円滑に運用されるよう基本的事項を具体的にまとめて全従業員に周知しています。
- 2 システムの運用にあたっては方針・目標を定め「リスクアセスメント」を基本に安全衛生管理計画を策定し、運用しています。
※リスクアセスメントとは・・・安全を妨げる要因を特定し、それらを分析して評価すること
- 3 問題点の把握・是正処置を行い、継続的な改善を実施します。
- 4 労働安全衛生マネジメントシステムの国際規格であるISO45001:2018の認証を取得し、安全衛生方針の定めのもと全社をあげて労働安全衛生活動を推進しています。

ISO45001の取得



システムの メリット

- 1 安全衛生管理・活動の確実性と効率性が図れる。
- 2 安全衛生活動に関する日常の地道な活動が公正に評価されることに繋がる。
- 3 健全性、信頼性のアップに繋がる。
- 4 安全衛生水準の連続的、継続的な向上が図れる。

安全衛生活動の取り組み



当社独自の安全看板シートの掲示

『見える化の実施』

大阪労働局・各労働基準監督署で推進している「安全見える化運動」を、当社も積極的に取り入れ、当社独自の「見える化シート」を製作し、各作業所において労働災害防止活動の一環として取り組んでいます。



安全帯試行と平均台による健康チェック

『安全帯試行と平均台による健康チェック』

現場において安全帯を使用する習慣をつけるため、朝礼後、安全帯の試行をするとともに、作業員の体調管理の一環として、各作業所に平均台を設け、平均台を渡り、当日の体調確認を行っています。



バックホウのシートベルトにマーカー装着

『シートベルトにマーカー装着』

万が一のバックホウ転倒災害に備え、運転者のシートベルト使用を徹底するため、第三者が確認しやすいマーカーを装着することにより、運転者が見られている意識を持つことによるシートベルト使用の促進を図っています。

協力会社との連携(MOST会活動)



第44回労働災害防止推進大会(大阪府)



第41回労働災害防止推進大会(東京都)



大阪・東京合同安全パトロール

MOST会各部会の活動



建築部会



材料部会



土木部会

MOST会とは

森組と協力関係にある企業の皆さまと、双方の発展に寄与することを目的とし、環境・安全活動や技術力の向上に向けての諸活動を行っている会

経営層パトロール

経営層が参加し、年間3回(安全週間・衛生週間・年末年始)強化パトロールを実施しています。なお、一昨年度はコロナ禍の影響で一部のパトロールが中止になりましたが昨年度は予定通りパトロールを実施することができました。



安全週間 経営層パトロール状況



安全週間 経営層パトロール状況



衛生週間 経営層パトロール状況



年末年始 経営層パトロール状況

けんせつ小町パトロール

(社)日本建設業連合会が推進している「けんせつ小町」を当社も積極的に取り入れ、女性職員による衛生パトロールを実施し、女性が働きやすい環境づくりを目指しています。



一級河川寝屋川加納元町調節池築造工事(発進立坑)(大阪府)



(仮称)枚方市楠葉花園町計画新築工事(大阪府)



JOY & JOY 自然保護を喜びに

地球環境に配慮しながら、 自然と共によりよく生きる。

美しい風景や大空、澄んだ水をいつまでも残したい。

誰もが願う中で、いま地球の症状は深刻化するばかり。

私たちにできることは、限られた資源を大切に有効に使うこと。

そして次世代にツケを残さない、持続可能な社会を目指して

新しい視点で創意工夫をすることです。

森組は地球環境との共存共生をキーワードに活動しています。

限りある資源と共生するエコプロジェクト

自然に感謝する気持ちを大切に…

森組は「地球環境との共存共生」を環境方針のテーマに据え、建設事業を営む私たちにこそ発揮できる地球環境への貢献に日々挑戦し続けています。

環境方針

森組は、社会的責任を果たすべく、以下の方針を定め関係者に周知します。

- [1] 環境負荷を低減するために環境マネジメントシステムを運用し、継続的な改善を図ります。
- [2] 環境に関する法令・協定を遵守し、必要に応じて自主基準を策定し実行します。
- [3] 「環境事故」のリスクを排除・低減します。
- [4] 環境負荷を低減するために以下の環境目的に取り組みます。

- ① 建設廃棄物の削減とリサイクルに配慮した設計・施工
- ② 持続可能な社会の実現、省エネルギーを配慮した生産活動
- ③ 周辺環境及び自然環境に配慮した丁寧な施工

ISO14001の取得

環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001:2015を認証取得し、「環境方針」の定めのもと部門単位で環境目標を達成し、全社をあげて環境保全活動を推進しています。



2022年度 環境目標の取組状況

環境目標の取組状況

森組では、土木工事・建築工事・リニューアル工事のそれぞれで法規制等を遵守し、資源の有効利用、省エネ活動、環境汚染の予防に努める活動を実施しています。

具体的な環境目標

- 混合廃棄物の削減
- リサイクルの徹底
- 環境事故の発生ゼロ
- 環境配慮の工事計画
- 建築物のエネルギー消費性能向上

電子マニフェスト普及率99%達成

当社は、2012年度から電子マニフェストの取組みをスタートしました。導入から11年目の2022年度は、全マニフェストに対する電子マニフェストの普及率は99%を達成しました。電子マニフェスト化は、廃棄物処理業務の負担を軽減するだけでなく、インターネット上で廃棄物の処理状況が確認できる等の「見える化」が図れるほか、処理途中で異常事態が発生した時の注意喚起機能を持っているなど、当社のCSR経営に欠かすことのできない優れたシステムといえるでしょう。

Action 06

[望まれる社会貢献]



JOY & JOY 喜びを行動に

人や地域とつながって、 広く貢献できるという喜び。

森組が、長きにわたって歩むことができた感謝の思いは、地域社会に還元することで喜びに変わります。地元の皆さまに安全・安心を直接確かめていただき、子どもたちの好奇心や学ぶ気持ちを育てる現場見学会、災害発生時に迅速対応するための緊急資材や機材配備など、地域社会の安心や快適生活の一助になるよう努めています。



R3利根川左岸麦倉築堤その1工事(埼玉県)

現場事務所に隣接する八坂神社境内は樹木が繁茂し、市道側に倒れる恐れのある巨木や、電線に絡む枝葉があり、地域住民が災害発生の可能性を懸念していました。そのため本工事の着手前に枝の伐採、不要樹の伐採・処分、石碑移転予定地の整地を地域貢献として実施しました。地域住民の方々から倒木や電線事故の危険が回避されたこと感謝され地元区長より感謝状を頂きました。



災害復旧への貢献

災害復旧

台風などの災害復旧に貢献しています。

平成29年7月 九州北部豪雨災害復旧工事



乙石川上流砂防堰堤工事(福岡県)



令和3年度赤谷川16溪流保全工事(福岡県)



緊急資材の配備

森組では災害発生時の初期活動に迅速に対応するため、また環境破壊などの拡大を未然に防ぐために、緊急資材を15ヶ所の地区に配備しています。この緊急資材は、地域住民・自治体等の緊急要請にも応えることができる体制を整えています。

- 東京都足立区
- 京都府城陽市
- 島根県出雲市
- 大阪府東大阪市(2ヶ所)
- 大阪市港区(2ヶ所)
- 大阪市東淀川区
- 茨城県鉾田市
- 千葉県香取郡多古町
- 宮城県加美郡加美町
- 滋賀県大津市
- 兵庫県西宮市
- 兵庫県加東市(2ヶ所)



全景



内部

現場見学会・地域社会への貢献

作業所ではいつでも、
人々の心に残る仕事を心がけています。

Report

呑川増強幹線その2工事
(東京都)

地域住民との交流を目的とし、地元商店会の方に現場見学会を開催しました。



Report

荒川中部農業水利事業
導水幹線工事(その6)(埼玉県)

発注者様主催にて、事業・工事への理解を深めていただくため近隣の方を対象に工事概要説明会・見学会を開催しました。



作業所では
地域住民の方々と
ふれあいを大切にします。

Report

耕作放棄地解消支援活動
(大根作付け)

NPO法人美しい田園21東北支部主催の令和4年度耕作放棄地解消支援活動(大根作付け)へ参加しました。



Report

永源寺ダム湖岸
クリーンアップ作戦

愛知川沿岸土地改良区主催の令和4年度永源寺ダム湖岸クリーンアップ作戦に参加しました。



森組は持続可能な開発目標(SDGs)を推進しています。

SDGsを始めとする今後の社会課題の解決について、わたくしたちは社会からの期待にこたえ、企業価値の向上を通じて、皆様と共に貢献していきたいと考えています。

人財

技術的・職業的スキルの向上
ICTスキルアップ支援、社内教育制度の整備
誰もが活躍できる環境整備
育休の促進(くるみん認定)

技能者の適切な評価
技能者のキャリアアップシステム(CCUS)促進
全ての人が教育を受けることへの支援
学生向けインターンシップの実施



従業員エンゲージメントの向上
働き方改革の推進(現場での4週8休)
社員の自主性を重んじ「働きがい」を支援

社会

健康増進・メンタルヘルスの向上
半日ドック受診制度、ストレスチェックの実施
たばこの規制
就業中の全面禁煙
強靱なインフラ構築
インフラ工事への貢献、品質確保

水関連災害の削減
防災・減災工事への貢献
事故の撲滅
労働安全衛生マネジメントシステム
(ISO45001)を運用



生産性の向上
ICT技術、BIM/CIM、AIの活用
障がい者及び高齢者のニーズへの配慮
バリアフリー工事への貢献
適切な企業ガバナンスの整備と運用
ハラスメントの防止、コンプライアンスの徹底

環境

環境上の悪影響を軽減
建設機械の排気ガス抑制、廃棄物の適正管理

持続可能な生産・消費
グリーン購入の促進



災害復旧工事、防災対策工事への取り組み

災害復旧工事、防災対策工事に積極的に取り組み、環境に配慮した安心安全に暮らせる住みよい街づくりを目指します。



清掃活動に参加

清掃活動ボランティアに参加し、地域社会への貢献、環境活動への取り組みを続けてまいります。



けんせつ小町パトロールの実施

工事作業所で働く女性社員、女性職人が、今よりも働きやすい環境になるように整えるため。また、女性からの目線で工事作業所内の安全面、衛生面について点検を行い、優れた試みは他現場にも生かし、改めることは是正し、女性だけでなく、男性社員、男性職人にとって働きやすい環境を整備する目的で、けんせつ小町パトロールを行っています。



その他にも当社は幅広くSDGs活動に取り組んでまいります。

Action 07

[責任ある社員育成]



JOY & JOY 働くことを喜びに

森組の人材は信頼と安全に繋がる財産です。

歴史ある企業として、私たち森組の人材育成に対する姿勢は大きな資産であると自負しています。
社員が自由に発言でき、個人の希望が尊重される環境を整え、一人ひとりが生き生きと活躍できる企業であるように取り組みを進めています。

森組の人材育成に関する取り組み

社員教育基本方針

森組は社員の自主性を重視し、意欲を持って、自らのキャリア形成に取り組めるような教育制度を目指しています。また、社員が安定的にパフォーマンスを発揮するためには心身の健康を自ら保つ力を獲得する必要があると考えています。この考えを基に新たに社員教育基本方針を策定しました。

- 各職位に求められる知識・ビジネススキルを適切なタイミングで習得・強化する。**
必要となる知識やスキルを適切なタイミングで教育することで、社員が自ら意欲を持って学ぶことに繋げる
- 学習メニューの多様化を図り、「自己キャリア形成」および「自己研鑽」の機会を提供する。**
希望者を対象とした学習メニューを準備することで、社員が将来のキャリアに必要なものを自ら考え、選択し、学ぶ機会を提供する
- 心と体の健康を維持し、安定したパフォーマンスが発揮できるようセルフマネジメント力を養成する。**
様々なストレス要因にシナヤカに対応する術を身につけることで、心身を健康に保ち、パフォーマンスを安定させる
- コンプライアンスに対する意識を向上させるとともに浸透・定着させる。**

教育施策

新たに策定された社員教育基本方針に基づいて、教育体系図を作成し、2023年度より運用を開始します。新たな教育体系図は従来の階層別研修等に、共通研修を追加しました。共通研修は森組の社員として確実に身につけて欲しいスキルを学ぶことができる『必修制』の研修【Standard】と社員が自己のキャリア形成やライフプランの実現のためのスキルを学ぶことができる『選択制』の研修【Self-improvement】で構成されます。これらの研修カリキュラムを時代や環境、社員のニーズの変化に合わせて、常に更新し続けることで、森組は企業と社員が相互成長できる、サステナビリティを重視した教育制度を実現します。

職務区分	階層別研修	職種別研修	資格試験対策	選抜研修	共通研修
役員	新任役員研修				Standard(一般) ※必修制 Self-improvement(自己研鑽) ※選択制
M	M級昇格者研修			エグゼクティブ研修II (役員候補者) エグゼクティブ研修I (幹部候補者)	
L1		施工管理 等実務研修 安全衛生 研修 管理系 事務職 研修			
L2	L級昇格者研修			技術士	
S1			1級建築 施工管理 技術士 1級土木 施工管理 技術士	2級土木 施工管理 技術士 火災 類似 取扱 責任者 コン クリ ート 技 士	
S2	入社3年目研修 新入社員 フォローアップ 研修 新入社員 研修				

共通研修種別	研修例
Standard(一般)	メンタルヘルス研修、ハラスメント研修、部下指導・育成研修等
Self-improvement(自己研鑽)	コミュニケーション研修、文章力UP研修、マネーリテラシー研修等

教育関連制度

目標管理制度	個々の社員が組織の目標や戦略に応じて、目標を設定し、その成果やプロセスを上司が評価し、助言することで社員の成長を促します。森組では、学歴・年齢・勤続年数ではなく、成果やプロセス、能力によって、評価しています。
キャリアプラン制度	社員が自ら希望する職種や部署を申告できる制度です。可能な限り社員の意欲と能力に配慮した適正配置を行うことで社員の自己キャリア形成に繋がると考えています。
技能資格一時金制度	社員の技能資格取得を推奨するために各種技能資格ごとに一時金を支給しています。2023年3月現在で90種類の資格に対して、一時金(最高70万円)が支給されます。社員一人ひとりが専門知識を獲得し、技術力を向上させることが、会社にとって有益であると考えています。

森組の採用に関する取り組み

採用方針

建設業の人材不足が深刻化する中で、採用活動を最重要課題と捉えています。伝統のある森組が持つ技術の伝承やバランスの良い人員構成のためには、安定した新卒採用活動が欠かせません。さらに応募の機会を広く提供するため、学校等を3年以内に卒業した既卒者の新卒者枠での採用や、キャリア採用にも積極的に取り組んでいます。2023年度からは事務系総合職の新卒者採用も実施しています。また森組は応募者の資質や長所を重視し、基本的人権を尊重した公正な採用活動を行うことで、応募者の精神的負担をできるだけ軽減できるように取り組んでいます。

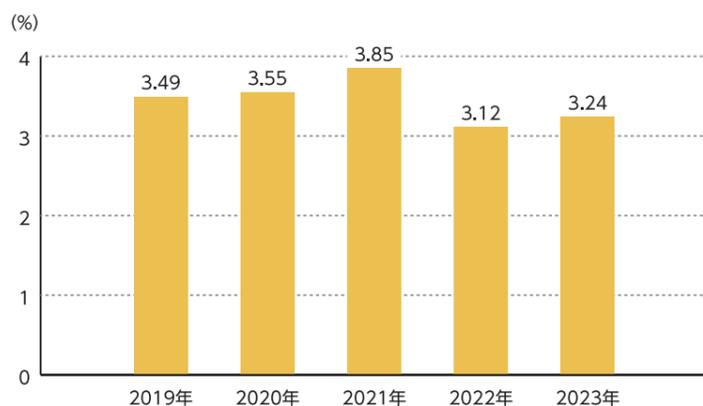
2021～2022年度採用実績と2023年度採用目標

		2021年度	2022年度	2023年度(目標)
新卒採用	技術系	9	8	20
	事務系総合職	—	—	2～4
キャリア採用		2	3	

障がい者雇用

森組は障がい者が個々の個性を活かし、健常者と共に働くことを促進していくことが、継続的な雇用につながることを考え、障がい者を積極的に雇用しています。2023年3月時点で障がい者雇用率3.24%と法定雇用率の2.3%を上回っています。

障がい者雇用率



再雇用制度

森組では60歳定年を迎える社員の雇用確保措置として、2006年4月より継続再雇用制度を導入しています。少子高齢化が進行する中で、高度な知識やスキル、経験を持つベテラン社員は森組にとって必要不可欠な人材です。本人が希望する場合は、最長65歳に達する事業年度まで再雇用を更新することが可能です。

森組の働きがいに関する取り組み

働き方改革

森組は社員の労働時間の適正な把握および過重労働による健康被害の徹底防止を推進しています。また法改正により2024年4月以降は時間外労働の上限規制の猶予期間が終了し、建設業も上限規制が適用されます。森組では労働時間の適正管理を目的として、勤怠管理システムを導入し、2019年からは同システムで承認された労働時間以外のパソコンの使用を制限するパソコン画面ロックシステムも導入いたしました。これらにより社員自らが過重労働の削減を意識し、計画的かつ効率的な働き方の実現に努めています。また、社員が仕事と育児を両立して活躍できる環境づくりを推進しており、2020年には次世代育成支援対策推進法に基づいて策定した一般事業主行動計画の目標達成が認められ、厚生労働省によるくるみん認定を受けました。今後も、森組は社員が職場と家庭生活を両立できる企業として歩み続けます。



女性活躍推進

森組では性別に関わりなく能力を発揮できる職場環境を整備し、社員の多様性を尊重した経営を行っています。これまでの取り組みの成果として、女性社員の職域も広がり、4名の女性幹部が在籍しています。また女性技術者の採用にも注力しており、2012年以降、17名の女性が施工管理職として、入社しました。今後も女性の能力発揮とキャリアプランが構築される職場作りを積極的に継続していきます。

働きがい改革

森組は社員にとって「大きなやり甲斐」と「誇り」をもって、安心して働ける企業を目指しています。この目標を実現するために、2022年より働きがいWG(ワーキンググループ)が発足し、エンゲージメントの調査や1on1ミーティングを実施し、課題抽出を行っています。そこから得た課題をもとに社員の働きがいを向上させるべく、森組のブランド力の強化、業務効率化や人材育成の更なる推進などの活動を行っています。

関連制度

育児休業	最長子が2歳に達するまで、育児休業を取得することができます。(法定は原則1歳に達するまで)
育児短時間勤務	小学校就学前の子どもがいる社員は、所定労働時間を4時間まで30分単位で短縮することができます。(法定は3歳に達するまで、6時間まで短縮)
子どもの看護休暇	小学校就学前の子どもがいる社員は、有給休暇とは別に子ども一人について年間8日の看護休暇が時間単位で取得できます。(法定は5日)

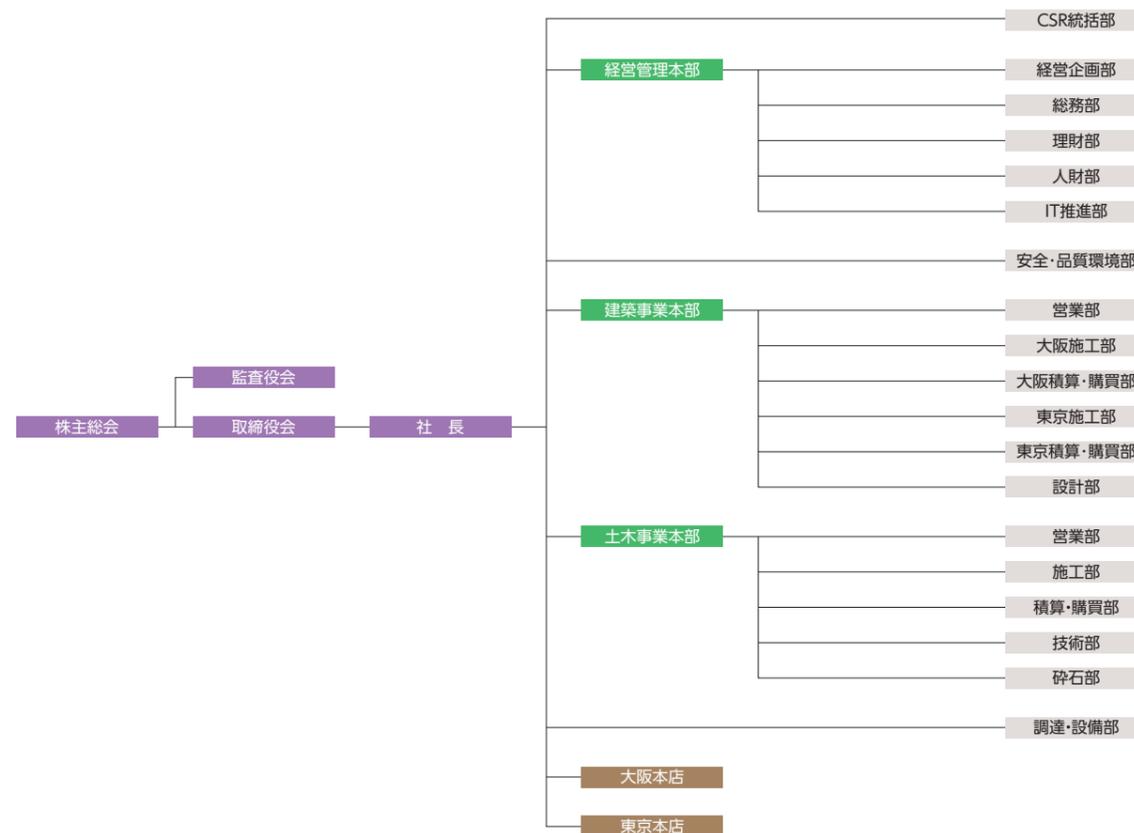
健康管理

社員教育基本方針にもあるように社員の心身の健康は人的資源に頼る森組にとって大きなテーマであると捉えています。年に一度、人間ドックを採用した定期健康診断、およびストレスチェックを実施し、産業医と情報共有し、連携することで、社員の健全な日々を守っています。

会社概要

社名	株式会社 森組
英文表示	Mori-Gumi Co.,Ltd.
代表取締役社長	吉田 裕司
創業年月日	1899年6月8日
設立年月日	1934年2月3日
資本金	16億4,000万円
営業種目	1) 土木建築その他附帯工事及び浄化槽工事の請負並びに工事の調査、測量、設計、監理 2) 砕石、石材並びにその他の地下資源の採取、売買 3) 公害防止施設並びに機器の製造、販売 4) 岩石を材料とした二次製品の製造、販売 5) 不動産の売買、交換及び賃貸並びにその代理、仲介 6) 公共施設等の維持管理及び運営 7) 建築・土木資機材の売買
従業員数	337名(2023年3月末現在)
営業許可	特定建設業許可 国土交通大臣許可(特-30)第2404号 一級建築士事務所登録 大阪府知事登録(力)第2647号 東京都知事登録 第29576号 採石業者登録 兵庫県 第518号 宅地建物取引業者免許 国土交通大臣免許(13)第2241号

組織図



主な取引先

官公庁等	民間企業		
大阪市	旭化成(株)	総合地所(株)	(株)阪急阪神ホテルズ
大阪府	旭化成不動産レジデンス(株)	(株)大久	(株)阪急メディアックス
(福)大阪府障害者福祉事業団	旭化成ホームズ(株)	(株)大和地所	阪神高速道路(株)
(大)大阪府立大学	イズミヤ(株)	大和地所レジデンス(株)	東日本高速道路(株)
大阪広域水道企業団	エイチ・エス化成工業(株)	東急不動産(株)	平和不動産(株)
京都市交通局	エイチ・ツー・オーリテイリング(株)	(学)東京女子医科大学	平和不動産リート投資法人
国土交通省	大阪高速鉄道(株)	(株)東京楽天地	(株)万代
社会保険診療報酬支払基金	大阪空港交通(株)	東宝(株)	三井不動産レジデンシャルリース(株)
(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構	大阪市高速電気軌道(株)	東宝舞台(株)	(学)箕面学園
東京都	大阪神鉄豊中タクシー(株)	東宝不動産(株)	名鉄不動産(株)
東京都住宅供給公社	大林新星和不動産(株)	東レ建設(株)	山中産業(株)
(独)都市再生機構	(株)カプコン	中日本高速道路(株)	(株)ライクス
奈良県葛城市	関西電力(株)	南海不動産(株)	(株)ライフコーポレーション
奈良県上牧町	関西不動産開発(株)	西日本高速道路(株)	(株)LIXIL
奈良県田原本町	北大阪急行電鉄(株)	能勢電鉄(株)	(株)ワキタ
奈良県三宅町	近鉄不動産(株)	野村不動産(株)	その他
奈良市	京阪電鉄不動産(株)	(株)長谷工コーポレーション	
農林水産省	神戸高速鉄道(株)	(株)阪急交通社	
羽曳野市	神戸電鉄(株)	阪急電鉄(株)	
法務省	コーナン商事(株)	阪急バス(株)	
宮城県	(株)コスモスイニシア	(株)阪急阪神エクスプレス	
(独)水資源機構	サムディ(株)	阪急設計コンサルタント(株)	
その他	(株)サンケイビル	(株)阪急阪神百貨店	
	(財)自転車駐車場整備センター	阪急阪神ビルマネジメント(株)	
	清水総合開発(株)	阪急阪神不動産(株)	
	(宗)創価学会	阪急阪神リート投資法人	

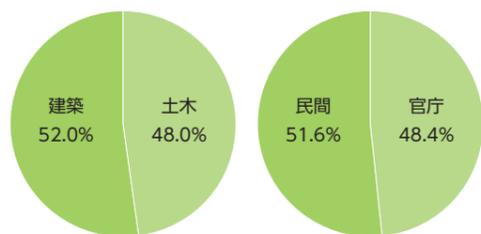
IR情報

第90期(2022年4月1日~2023年3月31日)

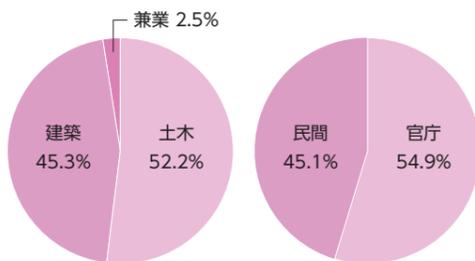
● 受注高・売上高の推移



● 当期の部門別状況(受注高)



● 当期の部門別状況(売上高)



沿革

- 1899年 6月 奈良県吉野郡において土木建築請負として創業
- 1931年 5月 国分碎石所開設
- 1934年 2月 個人企業を株式会社組織に改め、資本金50万円をもって(株)森組を設立
- 1949年 4月 生瀬碎石所開設
- 1949年10月 建設業法による建設大臣登録
- 1961年 9月 東京営業所開設(1964年4月支店昇格)
- 1963年 7月 大阪証券取引所市場第二部へ株式上場(2013年7月大証・東証統合により東証二部へ上場)
- 1971年 2月 宅地建物取引業による大阪府知事免許取得(1976年7月建設大臣許可に許可換)
- 1971年11月 採石法による採石業者登録
- 1973年12月 建設業法改正により建設大臣許可を取得
- 1988年 1月 東京本店設置(1996年6月 東京支店併合)
- 1990年12月 阪急電鉄(株)の関連会社となる(第三者割当増資・資本金70億1300万円)
- 1994年 6月 大阪本店設置
- 2004年 8月 16億4000万円に減資
- 2007年 5月 阪急電鉄(株)の関連会社から外れ、(株)長谷工コーポレーションの関連会社となる
- 2013年 7月 東証・大証統合により東京証券取引所市場第二部へ移行
- 2016年 5月 (株)長谷工コーポレーションの関連会社から外れ、旭化成(株)及び旭化成ホームズ(株)の関連会社となる
- 2019年 6月 創業120周年
- 2022年 4月 東証の市場再編にともない、スタンダード市場に上場

ISO取得関係

- 1998年 5月 ISO9002認証 東京土木にて取得
- 1999年12月 ISO9001認証 全社(碎石事業を除く)にて取得
- 2001年11月 ISO14001認証 全社(碎石事業を除く)にて取得
- 2002年11月 ISO9001 2000年版に改定
- 2005年12月 ISO14001 2004年版に改定
- 2010年 5月 ISO9001 2008年版に改定
- 2016年 4月 ISO9001、ISO14001 2015年版に改定
- 2019年12月 ISO45001認証 全社(碎石事業を除く)にて取得

事業所一覧

- 本社** 〒541-0045 大阪市中央区道修町4-5-17
TEL:06-6201-2763 FAX:06-6201-2768
- 大阪本店** 〒541-0045 大阪市中央区道修町4-5-17 M&Mビル4F
TEL:06-6201-2762 FAX:06-6201-2769
- 東京本店** 〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町10-6 フォーリッチビル7F
TEL:03-3808-2071 FAX:03-3808-2077
- 東北営業所** 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-14-26 保坂ビル3F302号
TEL:022-722-8552 FAX:022-722-8553
- 横浜営業所** 〒225-0002 横浜市青葉区美しが丘2-17-21 サンビル105号室
TEL:045-905-2320 FAX:045-902-5506
- 中部営業所** 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3-5-28 サウスレジデンス丸の内3B
TEL:052-955-5031 FAX:052-955-5032
- 京滋営業所** 〒604-0076 京都市中京区東堀川通丸太町下る7-2-12 シャンブル丸太町303号
TEL:075-257-7440 FAX:075-257-7441
- 奈良営業所** 〒630-8247 奈良市油阪町446-6 第一山口ビル3F
TEL:0742-20-5131 FAX:0742-20-5132
- 阪神営業所** 〒669-1101 西宮市塩瀬町生瀬1131
TEL:0797-87-9112 FAX:0797-87-8889
- 福岡営業所** 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-10-19 シャンブル博多第2-202号
TEL:092-477-6711 FAX:092-477-6701
- 生瀬碎石所** 〒669-1101 西宮市塩瀬町生瀬1131
TEL:0797-87-9112 FAX:0797-87-8889
- 社機材センター** 〒673-1462 兵庫県加東市藤田944-214
TEL:0795-42-8490 FAX:0795-42-8491

株式会社 森組 <https://www.morigumi.co.jp>

